

吉田町

# コーディネーター通信



吉田中学校  
地域コーディネーター

田原 仁美



だんだんと天気予報から雪だるまマークを見る機会が減り、春が近づいてきました。別れと出会いの季節です。今年度も様々な活動を通して、地域の方々大変にお世話になりました。ありがとうございました。

## 『夢』発見ボランティア

IN  
WINTER

夏休みに続き、夢ボラ IN WINTER が冬休み期間に開催され、吉田中からも 2 名の参加がありました。2 名は吉田地区振興協議会と、国民宿舎 清嵐荘でボランティア活動を行いました。ボランティアの輪がどんどん広がると良いですね。



## 卒業証書授与式

3月11日(土)に行われ、11名の卒業生が吉田中学校を巣立っていきました。3年ぶりに来賓の方にもご臨席いただき、全校合唱～旅立ちの日に～を聴いていただくこともできました。卒業生の皆さん、おめでとうございます！



## 吉田中学校区で育てたい子ども像

学校・保育所と地域が連携・協働しながら、小規模校の良さを生かし、保・小・中の一貫した保育・教育を通して、吉田を愛し、心豊かに、たくましく生きる子どもを育成する。

## 吉田中学校区で大切にしたい4つの柱

雲南市では、各中学校区ごとに『夢』発見プログラムを作成し、中学校区で育てたい子ども像を掲げ、学校・家庭・地域が目線を合わせ、地域資源(人・もの・こと)を活用したキャリア教育・ふるさと教育の推進を行っています。吉田中学校区版では、特に大切にしたいこと4つ ●外国語教育の充実●たたら・炭焼き、森林学習●スキー教室●合唱 を通して、体験活動の充実、地域の方との交流、本物との出会いをめざしています。

今年度、吉田中学校で取り組んだ活動を紹介します！

合唱♪

植樹2年目となる今年度も、(株)たなべたたらさんの里さんにご協力いただき、生徒が選んだ・あすなろ(変わらない友情)、やまぼうし(友情)、を植えました。

森林学習

外国語教育

ALTさんと全校英語！

地域講師の渡部恵深さんに指導いただき、卒業式に向け全校合唱・旅立ちの日に、を練習しました。

スキー教室

今年度は、天候に恵まれず残念ながらスキー教室は中止となりました。



この他にも、火焰太鼓・深野神楽など、地域の伝統文化に触れ、地域の方からの学びを通して、親しみを深めています。

吉田小学校  
地域コーディネーター

松島 俊枝



鳥の声を耳にし、野山の風景の移ろいを感じながら日々過ごす…。「吉田ってすごいところだなあ～」という想いを何とか伝えたいと日々奮闘しつつ、卒業から入学へと新しい年度へバトンタッチする時期となりました。

これからも、世代を問わず様々な花が咲き誇ることを願っています…♡

2/3・21

### 『たたら学習』集大成・小刀づくり



3学期はいよいよ小刀づくりに挑戦！予めデザインを考え(1/30)、2月に入り鋼材をカットしたりやすりで磨いたりしました(2/3)。焼き入れは吉田・田井小合同でかじ工房で行い(2/21)、オリジナルの小刀が完成しました。皆さん、いつまでも大切にしてくださいね♡

また、(公財)鉄の歴史村地域振興事業団：小林憲生様には、細部にわたって最後まで丁寧にご指導いただき、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。



2/22・24

### 『たたら火焰太鼓』に挑戦！

中学年は、吉田町生涯学習交流館へ出かけ、4年振りに『たたら火焰太鼓』に挑戦しました！

ご多用の中、基本打ちから“かなん流し打ち”まで熱心にご指導いただきました、菅谷地区古居哲夫様・堀江直之様には厚くお礼申し上げます。ふるさとの大切にしたい芸能の一つとして、いつまでも守り育てていきたいと、強く思いました。



3/3

### 6年生を送る会♡

～6年生明るい未来へ大きくはばたけ～ 各学年で出し物を考え、心のこもった集会となりました。6年生からは、全員に手作りプレゼントが手渡されました♡



3/17  
卒業式

今年は4年振りにご来賓の方をお招きし、6年間の思い出を胸に2名の児童が巣立っていきました。



私たちが住む、吉田町は「たたら製鉄」と大きな関わりがあります。「たたら製鉄」の手順は、まず、かなん流しで砂鉄を集めます。炉を作って、集めた砂鉄と炭を入れて三昼夜続けて操業して「けら」を作ります。ここでできた「けら」から刀などを作るそうです。吉田小では、総合的な学習の時間にすべての工程を体験させてもらえます。吉田小でしかできない体験をし、感じたことを発信していきたいです。

### 吉田の伝統「たたら製鉄」

五年 河野 愛魅夏

桂の木を生で見ると、生で感じてみてください。

### 神様の木

五年 繁松 杏

吉田の好きなところ  
(「き地灯台」から抜粋)

たたら神様が桂の木から降りてきて、たたらを作る村下と呼ばれている人たちにたたらの作り方を教えたといわれています。そして私は、その桂の木を探るために菅谷たたら山内に行ってみました。私が見たときは冬だったので、葉が落ちてしまっていたけど、きれいで迫力が感じられました。そして、その桂の木は、三月末から十日ぐらいのペースで赤、黄、緑の順に葉の色を変えます。どの色もとてもきれいで不思議な魅力があります。ぜひ、皆さんも桂の木を生で見ると、生で感じてみてください。



田井小学校  
地域コーディネーター

小田 和子



少しずつ色々な事が出来るようになってきた令和4年度。学習発表会に続いて、卒業式も来賓の方々や、地域の方々をお招きして開催する予定です。来年度は、コロナが流行る前のように、地域と学校とがたくさん交流できるといいなと思います。人の繋がりが深い田井地区で、子育てしたいと思ってもらえる活動を大切にしていきたいです。

## しめ縄作り体験

12月15日(木)3年生から6年生が今年度で9年目となる、しめ縄作り体験をしました。6人の地域講師さんに来ていただきました。6年生は4回目で、上手に作っていました。輪締めが出来上がると、下がりをつけます。それから毎年、鶴亀グループからいただいている手作りの鶴と亀をつけました。紅白の紙垂(シデ)をつけて、みんなとても立派な正月締めが出来上がりました。



## 1・2年生町探検

**曾木** 2月3日(金)曾木地区へ探検に行きました。

**湯村** 2月15日(水)湯村地区へ探検に行きました。



まず、自己紹介をしてから、鶴亀グループさんにミニしめ縄の作り方を教えていただきました。

最初に、「泊まれるレストラン tsukaru」へ行きました。手作りのイラストで自己紹介をしてもら



いました。それから、2階の部屋を見せてもらったり、厨房に入らせてもらったりしました。ベッドメイクをさせてもらい大はしゃぎでした

その後は、集会所で、曾木の方たちと「ずいずいずっころぼし」と「吉田ふるさとかるた」をして遊びました。



ずいずいずっころぼし  
ごまみぞずい♪

## 月一回の学校支援ボランティア 2月22日(水)卒業ブーケ作り

卒業  
おめでとう!!



1. 2年生と一緒に、卒業式に1年生から6年生にあげる手作りブーケを作りました。ボランティアさんとお話ししながら楽しく作業できました。

コロナ禍で卒業式に地域の方々に見に来てもらえなくなりましたが、今年度は見に来ていただける予定です。



煤竹のストラップ

次に、隣の「煤竹工房奥出雲湯村ギャラリー」へ行きました。若槻さんに楽しくお話を聞かせていただいてから、1



川の温泉につかったよ

人ひとり、煤竹のストラップに名前を入れてもらいました。

**吉田中学校区担当**  
 (雲南市教育委員会)  
**社会教育主事 藤原 枝理子**



大雪も終わり、春らしい日が多くなってきましたね！

Spring has come♪

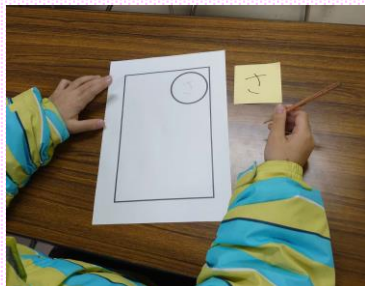


先日、三刀屋高校2年田原和心さんの呼びかけで、小学生を対象に「吉田かるた」作りがありました。これは、高校生が雲南市を舞台に自分らしいプロジェクトに挑戦する雲南スペシャルチャレンジ・ジュニアとして取り組んでいるもので、2日間のイベントには学校帰りの小学生が、子どもの広場にたくさん集まってくれました。

1回目の活動の前に、高校生から「吉田のいいところは何ですか？」という質問を小学生にしました。何人かがすぐに手を挙げて「風景がいい」「川がきれい」「自然豊か」と、どんどん言ってくれる中、ある小学生が「**地域の人が優しい**」と言ってくれました。その意見に他の小学生も「うんうん」と大きくうなずいていました。2回目の活動までに、それぞれのタブレットで「吉田のいいところの写真を撮ってきてほしい」と高校生がお願いしたところ、たくさんの写真が集まったようです。読み札の内容も、吉田の魅力が伝わるように考えていました。

この2回の活動を見させていただきましたが、吉田の小学生の心の中には、確かに「ふるさと吉田」が根付いているのが見られました。そしてなによりも、このスペシャルチャレンジ・ジュニアに取り組んだ高校生の「ふるさと吉田に貢献したい」という思いも伝わってきました。

高校生と小学生の思いが詰まった「吉田かるた」の完成が楽しみです。



地域づくり担当  
**錦織 研吾**



**問題：吉田町の人口（令和5年2月末時点）は何人でしょうか？**

(参考「国勢調査」昭和30年4,963人、平成12年2,433人、平成27年1,706人。)

**【人口減少について】**

日本を含む先進国では「人口減少」が課題。  
 人口維持には合計特殊出生率が2.07程度必要。島根県は1.69（令和2年）。

**【地域に残ってもらう・入ってもらうには？】**

人口減少を増加に転ずる特效薬はあるのか？  
 人口減少のスピードを緩める策はあるのでは？  
 地域でできることがあるのでは？

地域自主組織と一緒に考えて、取組んでみましょう！

**【答】1,490**

吉田地区担当  
**保健師**



暖かい日が増え、春がもうすぐそこまでできていますね。新年度を元気に迎えるために、減塩についてのお話です。調理された料理にしょうゆやソースをよくかける、めん類の汁（ラーメン、うどん等）を飲むといったことに心当たりのある方はいませんか？塩分を控えることで高血圧予防、脳卒中予防になります。食事は毎日のことです。未来の健康な自分のため、家族のためできることから減塩にとりくみましょう！

**クイズ**：ラーメンの汁を全部残すと塩分は何%カットできるでしょうか？

- ① 70%
- ② 50%
- ③ 30%

答えは②です。塩分は約50%カットできます。

本誌に関するお問い合わせ

吉田小学校 松島（74-0017） 田井小学校 小田（75-0009） 吉田中学校 田原（74-0140）